

令和5年度 要覧



見つけよう

味わおう



そして広げよう

白鷹の山群と点在する湖沼、そして、そこに生息するさまざまな生き物たち。
ここは、出会いと感動の世界です。



山形市少年自然の家
Yamagata City Nature Center



山形市少年自然の家とは

豊かな自然環境の中で集団宿泊生活及び野外活動等を行いながら、心身ともに健全な少年を育成するとともに、生涯学習の推進に資することを目的とした社会教育施設です。

山形市の中心部から西へ18km、山形県のほぼ中央、村山盆地を一望できる荒沼湖畔の高台にあり（標高600m）、県政100年を記念して設置された「県民の森」の中に位置しています。

自然の家の活動エリアは、大沼・荒沼など大小13の湖沼が点在する丘陵状の地域と、白鷹山や東黒森山を中心とする山岳地帯からなり、標高も450mから994mの間にあって起伏に富んだ地形になっています。

また、エリア内には、東黒森山のアカマツ自然群落、琵琶沼の高層湿原植物、曲沼の水生植物等の貴重な植物生息地があります。さらに、昆虫類、両生類、野鳥等の動物も多く生息しており、自然学習に恵まれた環境にあります。

運営の方針

【1】基本方針

山形市少年自然の家は「山形市教育大綱」及び「山形市教育振興基本計画」に基づき、義務教育諸学校の児童生徒及び幼児が豊かな自然の中で、集団宿泊生活や野外活動を通し、心身ともに健全で豊かな人間性を育むために必要な支援並びに指導者への研修を行っていきます。

また、広く市民を対象に「自然と人間の共生」をテーマとして生涯学習の場・環境学習の場として、市民が利用しやすい施設運営を心がけていきます。

【2】重点目標

- (1) 学校教育への支援
- (2) 社会教育の推進
- (3) 施設環境の整備
- (4) 研修の充実

所章（シンボルマーク）



作者 川口祐美子 昭和57年3月13日制定
（構図のイメージ）

- 地色のモスグリーン…豊かな自然の深緑
- 上部山形構図……………白鷹丘陵の山々と最高峰
- 下部人像図……………自然に親しむ人間像

施設概要

宿泊定員：本館 216名 荒沼キャンプ場 160名 板橋キャンプ場 250名

《本館施設》（敷地面積：100,464.77㎡…荒沼キャンプ場を含む、昭和54年開設）

施設名		1階	2階
本館	管理棟	研修室・資料展示室・会議室・保健室 事務室・所長室（応接室）・男女浴室 食堂・印刷室・奉仕者室・警備員室 等	プラネタリウム室・視聴覚室 学習室・天体観測室（3階） ※20cm屈折赤道儀天体望遠鏡 完備
	宿泊棟	洋式二段ベッド9室（12人用） 指導員室（4人用）・打合室・衣料庫 洗面所・トイレ・玄関 等	洋式二段ベッド9室（12人用） 指導員室（4人用）・打合室・衣料庫 洗面所・トイレ 等
	体育棟	体育室・体育用具室・スキー庫 スキー乾燥室・放送室・工作室 等	資材庫

生活体験の家		1階	2階
		上段の間8畳・二の間6畳・土間 中間8畳・納戸10畳・道具置場 茶の間18畳 等	昔の生活用具展示

野外施設	本館炊飯棟（かまど18）・倉庫・本館炊飯用具庫・本館管火場・玄関前掲揚塔 フィールドアスレチック・冒険の森・プロジェクトアドベンチャー 等
------	--

荒沼キャンプ場	常設テント（40張） バンガロー5棟（若葉・青葉・枯葉・落葉・双葉）・大テント（4間×8間） 管理棟（公衆電話有）・用具庫・薪小屋・荒沼管火場・掲揚塔・展望台 バイオマストイレ1棟（一日平均400回使用可能）・他トイレ2棟 炊飯棟（かまど28） ※ケビン使用不可 （敷地面積：21,948.62㎡ 建築面積 延319.99㎡）
---------	---

《野外活動センター施設》（敷地面積：213,000㎡…板橋キャンプ場を含む、平成8年開設）

施設名		1階	2階
サービスセンター		ロビー・ふれあい工房・厨房 インストラクタールーム・トイレ ミーティングルーム・倉庫 等	ホール・倉庫 大型下足箱（階段踊場）

野外ステージ	ステージ・機械室・控え室・トイレ・倉庫
--------	---------------------

野外施設	運動広場・スキー場（Tバーリフト1基）・ラングラウフスキーコース スーパースライダー・風の洞窟・眺望の砦・みはらし台・虫の広場 ビオトープ用貯水池・ビオトープの流れ・いかだハーバー
------	--

駐車場	第一駐車場（普通車53台）・第二駐車場（大型10台）
-----	----------------------------

板橋沼キャンプ場	ドーム型テント（設営撤収型テント 約55張） 指導者用常設テント（屋根付広場隣2張、C炊飯棟裏2張） テントサイト（サイト数 A:11 B:8 C:8 D:8 E:9 ※1サイト2張） 炊飯棟5棟（かまど数 A:12 B:12 C:10 D:10 E:6 計50） 管理棟（シャワー5、シュラフ・テント収納庫、コンテナ等収納庫、薪倉庫、公衆電話有） 屋根付広場・水洗トイレ2棟・大テント2張・板橋沼管火場 （敷地面積：67,000㎡ 建築面積 延416.0㎡）
----------	--

利用案内

(1) 利用できる人

少年自然の家	野外活動センター
1. 市内の幼小中学校園児・児童・生徒及びその指導者 2. 市内の子ども会や各種少年団体など及びその指導者や保護者 3. 山形市以外の県内団体は、条件付で利用可	どなたでも利用できます ※但し、一部個人では利用いただけないものがあります。また、事前の申し込みが必要な施設があります。

(2) 諸経費

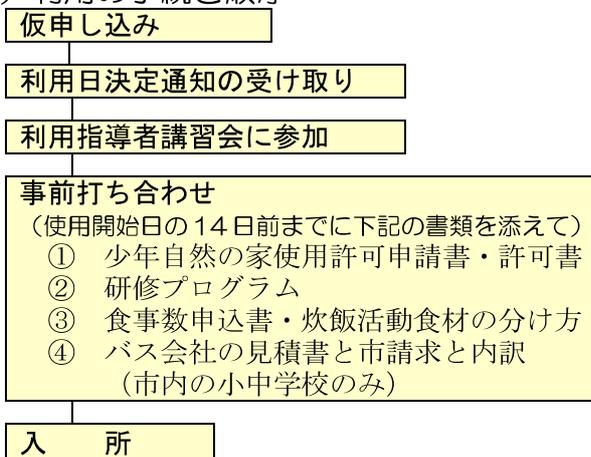
- ・施設使用料は無料（但し、野外活動センターについては、大人が専有で利用する場合のみ、諸経費がかかります。）
- ・食費…朝食 460 円～、昼食 500 円～、夕食 640 円～（詳細は、HP 掲載「自然と友と」参照）
- ・シーツ洗濯代…本館及びキャンプ場とも 130 円ずつ
- ・研修材料費は実費（退所時、現金支払いとなります。）
- ・野外活動センター使用料金（大人の専有利用者のみ）

(3) 野外活動センター諸経費（大人の専有利用者のみ）

野外活動センター 有料施設名など	区 分	使 用 料	備 考
サービスセンター ホール	参加者より入場料を徴収しない場合	3時間までごと 1,000円	・サービスセンターホール、野外ステージ及び運動広場は、専用使用の場合のみ使用料を徴収する。 ・「入場料」とは、いずれの名義であるかを問わず、利用団体が参加者（市民等）から徴収する、その入場の対価をいう。
	参加者より入場料を徴収する場合	3時間までごと 2,000円	
野外ステージ	参加者より入場料を徴収しない場合	3時間までごと 2,000円	
	参加者より入場料を徴収する場合	3時間までごと 4,000円	
運動広場		3時間までごと 500円	
板橋沼キャンプ場		1張り1泊 300円	

品 名	使用単位	使用料	備 考
野外ステージ音響設備	一式 1時間までごと	100円	音響設備、照明設備、テントその他規則に規定する附属設備及び備品類の使用者から、1施設及び1備品類につき500円以内で、規則で定める額の使用料を徴収する。
野外ステージ照明設備	一式 1時間までごと	500円	
温水シャワー	一人 1回	100円	
机（いす3脚付）	一組 3時間までごと	100円	
ワイヤレスアンプ （マイク2本付）	一組 3時間までごと	100円	
テント	一張1泊	300円	
シュラフ	一枚1泊	300円	
炊飯用具	一式	200円	

(4) 利用の手続き順序



(5) 休業日について

- ・月曜日（第3日曜日の翌日を除く）及び第3日曜日とその前日
- ・国民の祝・休日、並びに年末年始（12/28～1/3）
- ・国民の祝・休日と上記の休業日が重なった場合はその翌日

(6) 利用できる時間（制限される施設とその時間）

- ・サービスセンター 午前9時～午後5時
- ・野外ステージ 午前9時～午後9時

①②③の書類は、全て自然の家ホームページ上に添付されています。プリントアウトしてお使いください。
 なお、使用許可申請書は、EXCELファイルになっています。1枚目が許可申請書、2枚目が許可書となっています。1枚目に記入すると、2枚目に複写されますので、代表者印を押して、一組にして提出してください。

主催事業

対象	No.	主催事業名	募集人員	ねらい	主な内容	期日
I 指導者	1	夏期利用指導者講習会 [小・中学校教員等]	該当団体	各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにするために、実技研修・育ちを実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすとともに、利用団体間の利用調整を行う。	施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント 利用調整・事務手続	4月14日(金) 1部 9:00～12:00 2部 14:00～17:00
	2	秋期利用指導者講習会 [小・中学校教員等]	該当団体		施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	8月1日(火) 1部 9:00～13:00 2部 14:00～17:00
	3	冬期利用指導者講習会 [小・中学校教員]	該当団体		子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	12月1日(金) 14:20～16:50
	4	利用指導者講習会 [子供会等]	該当団体		施設見学・プログラム体験(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	5月28日(日) 1部 9:00～13:00 2部 13:30～17:00
	5	冬期利用指導者講習会 [子供会等]	該当団体		実技研修(選択) リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	各団体個別に実施
	6	ボランティア スタッフセミナー 1泊2日 [学生・一般]	大学生 大学院生		子ども理解を深め、各事業での具体的な活動を想定しながら研修することにより、ボランティアとしての資質向上を図る。	ヘッドメイキング テント設営 炊飯活動 研修場面での支援の在り方(講習) 各種クラフト研修 他
II 小・中学生	7	第25回 わんぱくサマーキャンプ 1泊2日	小4～中3 20名程度	キャンプや自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを実感するとともに、友だちと協力することの大切さを感じ取る。	キャンプ・ナイトハイク 追跡ハイキング 退所ハイク 他	7月22日(土) ～23日(日)
	8	第30回 わんぱくウインターキャンプ 1泊2日	小4～中2 20名程度	冬の自然体験を通して、自然の雄大さ・協力することの大切さを実感するとともに、門松作りなどの伝統文化のよさを味わう。	門松つくり 雪上運動会 他	12月23日(土) ～24日(日)
	9	第37期 少年団 1泊2日 年7回	小4 36名程度	年間7回の宿泊活動の中で、さまざまな自然体験や仲間との協働体験などを通して、心身ともにたくましく、自然を愛する子どもを育成する。	プロジェクトバンチャー・ナイトハイク 他 キャンプ・炊飯活動・いかだ 他 白鹿山WRV・プラネ・運動広場野宿 他 ミステリーツアー・うどん打ち 他 3食炊飯活動(享煮)・草木染め 他 ラング・自作そり 他 雪上運動会・文集・卒団式 他	① 6月3日(土)～4日(日) ② 7月1日(土)～2日(日) ③ 8月5日(土)～6日(日) ④ 9月23日(土)～24日(日) ⑤ 10月21日(土)～22日(日) ⑥ 1月6日(土)～7日(日) ⑦ 2月24日(土)～25日(日)
	10	わくわくキッズキャンプ 1泊2日 年3回	小3・4 各20名程度	自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを実感するとともに、初めて会う職員や友達と交流する楽しさを味わう。	夏 炊飯活動・東黒森山登山 キャンプファイヤー・いかだ 他 冬 そり滑り・チューブ滑り アイスクリーム作り・ラング 他	① 6月17日(土)～18日(日) ② 6月24日(土)～25日(日) ③ 2月3日(土)～4日(日)
	11	森の昆虫見つけ隊 3日間より選択	小3～中3 までの親子 10組20名程度	昆虫採集・標本作りを通して、豊かな自然環境を大切にしていこうとする気持ちを育てる。	昆虫採集 昆虫標本づくり	① 7月28日(金) ② 7月29日(土) ③ 7月30日(日)
	12	親子 ふれあい自然体験 日帰り	小1、2年の親子 10組程度	親子自然散策や調理などを通して自然の豊かさを体感させるとともに、親子でのふれあいの機会をつくる。	親子ハイキング 親子炊飯活動 他	5月20日(土) 5月27日(土)
	13	親子そば打ち道場 日帰り	中3までの親子 15組程度	親子での体験を通して、自然の家の役割についての理解を深め、自然に親しむ契機としていただく。	竹のそば猪口と竹箸つくり そば打ち講習 そば試食会	10月29日(日)
	14	自然の家 秋祭り	一般市民 200名程度	市民に施設を広く開放し、様々な野外活動・文化活動などの機会を提供することにより、少年自然の家の機能や役割についての理解を深め、豊かな山形の自然環境保全について考える契機としていただく。	野外活動 (グランドゴルフ、製作体験 他) 文化活動 (フナタリウム、各種クラフト 他)	9月3日(日)
	15	周辺の自然を味わう×季節毎	一般市民 20名程度	同上	自然の家周辺	春4月22日(土) 秋10月1日(日) 冬 令和6年1月27日(土) 令和6年2月24日(土)
	16	家族でキャンプ体験	一般市民 家族5組	一般市民にテント泊によるキャンプ体験を提供し、入門編として今後のキャンプ体験のきっかけとしていただく。	板橋沼キャンプ場	① 6月17日(土)～18日(日) ② 6月24日(土)～25日(日) ③ 9月9日(土)～10日(日)
	17	プラネタリウム一般公開 年3回	一般市民 10家族程度	一般市民を対象とした生涯学習を目的とし、プラネタリウム体験を通して、星空への興味や関心を高める。※2回目は、自然の家秋祭りの一つの活動として計画する。	1回目……春・夏の星座 2回目……夏・秋の星座 3回目……秋・冬の星座	① 5月21日(日) ② 9月3日(日) ③ 10月28日(土)
18	自然の家所長杯 モルック大会	一般市民 3名ずつ16組	老若男女問わずに楽しめるスポーツをきっかけに外で楽しむ。	3名1チームの対抗戦	7月30日(日)	
19	サービスセンター クラフトウィーク	一般市民	一般市民を対象とし、自然に親しむとともに、気軽にクラフト体験ができるようにする。	自然物でクラフト体験	9月～11月の第三週 9/12～15 10/16～20 11/14～17	
V 共催	20	雪椿まつり	一般市民 200名程度	雪椿の群生地として貴重な場所であることを広く知らせ、環境への関心を高める。	武田先生、山田先生による説明 他	4月下旬頃
VI 支援	21	山形大学 社会教育実習	山形大学 学生	学校教育と社会教育の連携の在り方や子どもに対する支援の在り方について、実際の活動を通して理解を深めさせる。	基本実習 ・指導者に必要な支援を学ぶ講義 ・実技研修 他 応用実習 ・実際の支援の在り方を体験する研修	基本:8月15日(火) ～17日(木) 応用実習:各主催事業

研修活動

自然観察的活動

- プラネタリウム・天体観測
- 自然散策
- グリーンアドベンチャー
- ネイチャービンゴ
- 秋さがしアドベンチャー
- 昆虫採集・昆虫標本づくり



昆虫標本づくり



自然散策



野外炊飯



原始の火起こし



いかだアドベンチャー



プロジェクトアドベンチャー

協働的活動

- プロジェクトアドベンチャー (PA)
- スコアオリエンテーリング
- 追跡ハイキング
- 夜間ハイキング
- ウォークラリー (WR)
(白鷹山 WR・東黒森山 WR・広場めぐり WR)
- 登山 (白鷹山・東黒森山)
- 原始の火起こし
- いかだアドベンチャー
- フィールドアスレチック
- 野外キャンプ
- 野外炊飯
- 雪遊び・雪像づくり

創作的活動

- | | | | |
|------------|-----------|-------------|-----------|
| ● 竹とんぼ | ● ペンダント | | |
| ● 草木染め | ● けん玉の絵付け | | |
| ● ヨーヨーの絵付け | ● こまの絵付け | ● 手回しコマの絵付け | ● こけしの絵付け |
| ● 焼き板 | ● バードコール | ● My はし作り | ● 勾玉作り |
| ● アロマキャンドル | ● エコバック | ● トーチ棒作り | |



草木染め



エコバック

レクリエーション的活動

- 朝・夕のつどい
- キャンプファイヤー
- ボンファイヤー
- キャンドルサービス
- フォークダンス
- フリスビーゴルフ
- グラウンドゴルフ
- モルック
- ボッチャ
- ラングラウフスキー
- チューブすべり
- そりすべり



キャンドルサービス



キャンプファイヤー



チューブすべり



ラングラウフスキー

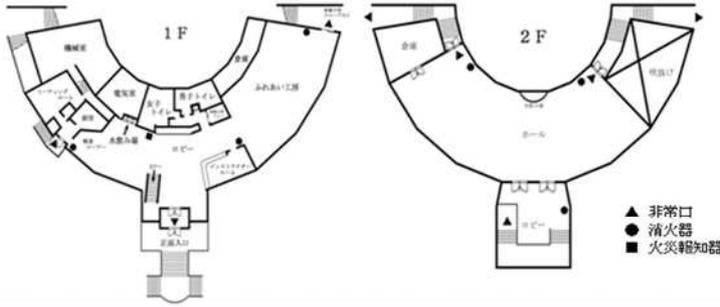
文化的活動

- 民話のつどい
- 伝承遊び（お手玉・けん玉など）
- 昔の生活体験（生活体験の家）
- 写生・スケッチ
- 合唱・吹奏楽（野外ステージ）

活動エリア



サービスセンター



▼サービスセンター 2F707ア-



▲サービスセンター 1Fふれあい工房

▼野外ステージ



荒沼キャンプ場

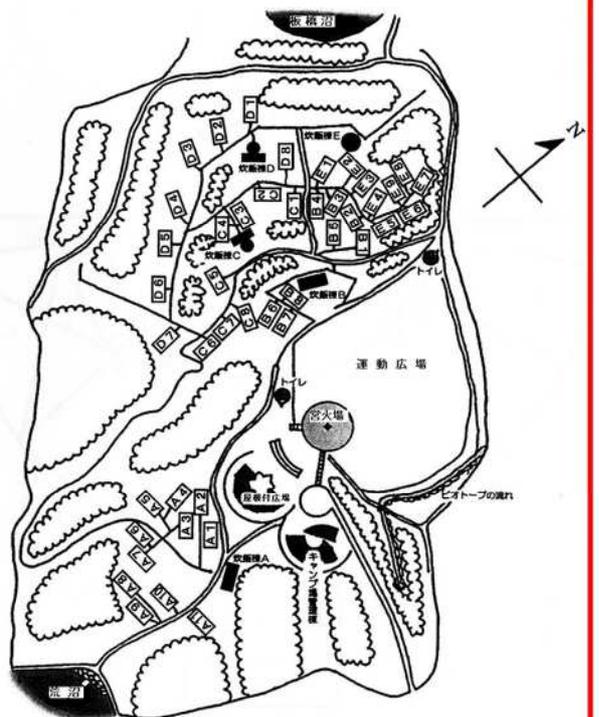


▲板橋沼キャンプ場
管理棟



▲板橋沼キャンプ場
ドーム型テント

板橋沼キャンプ場



▼荒沼キャンプ場 炊飯棟

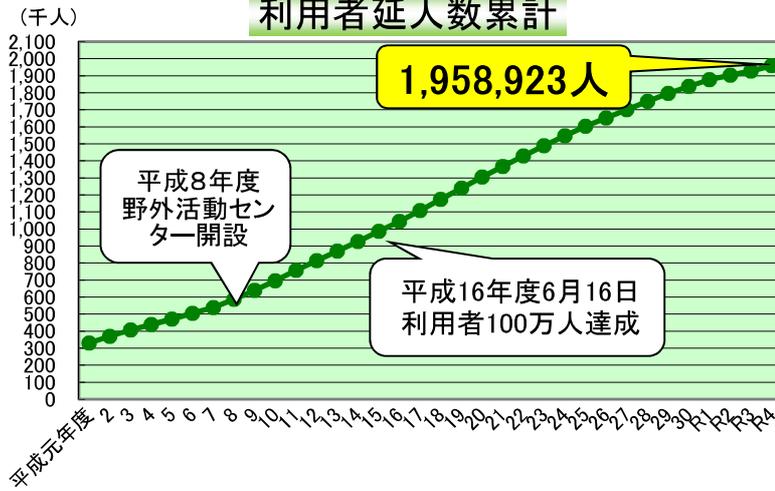


▼荒沼キャンプ場 常設テント

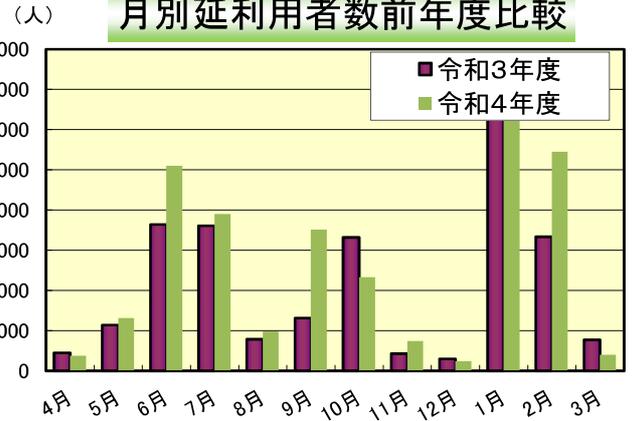


利用状況

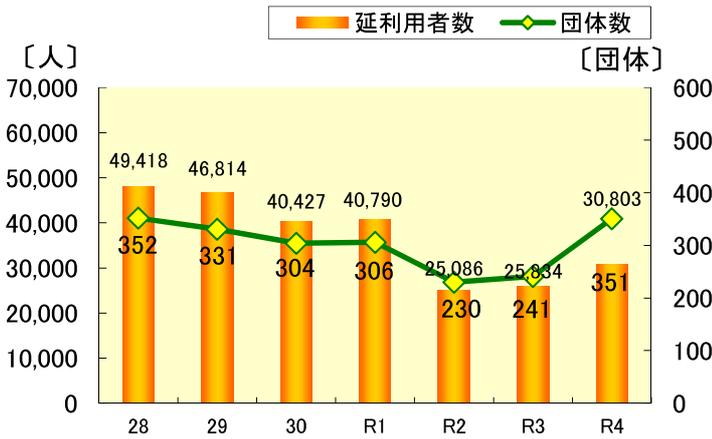
利用者延人数累計



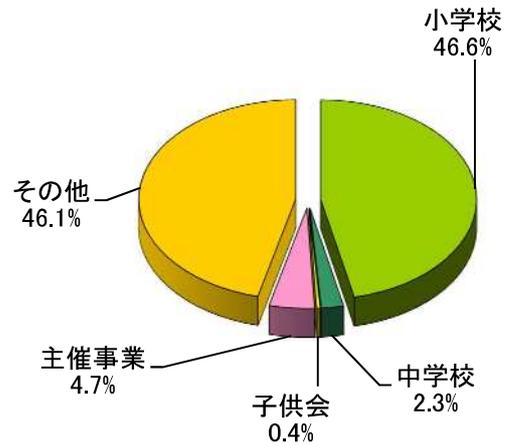
月別延利用者数前年度比較



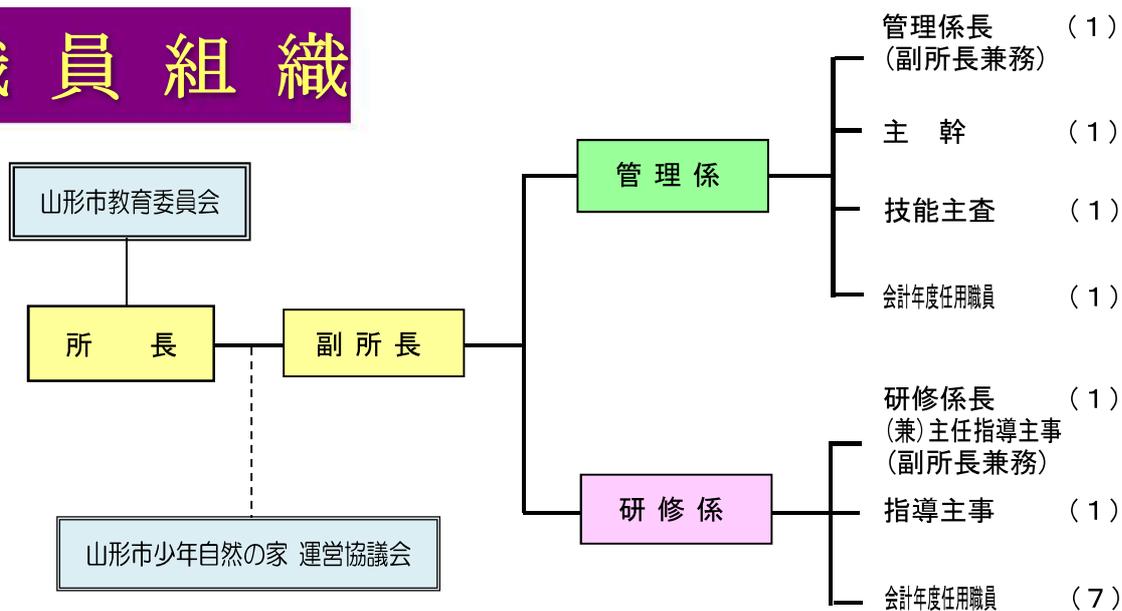
延利用者数・団体数



令和4年度団体別延利用者数



職員組織



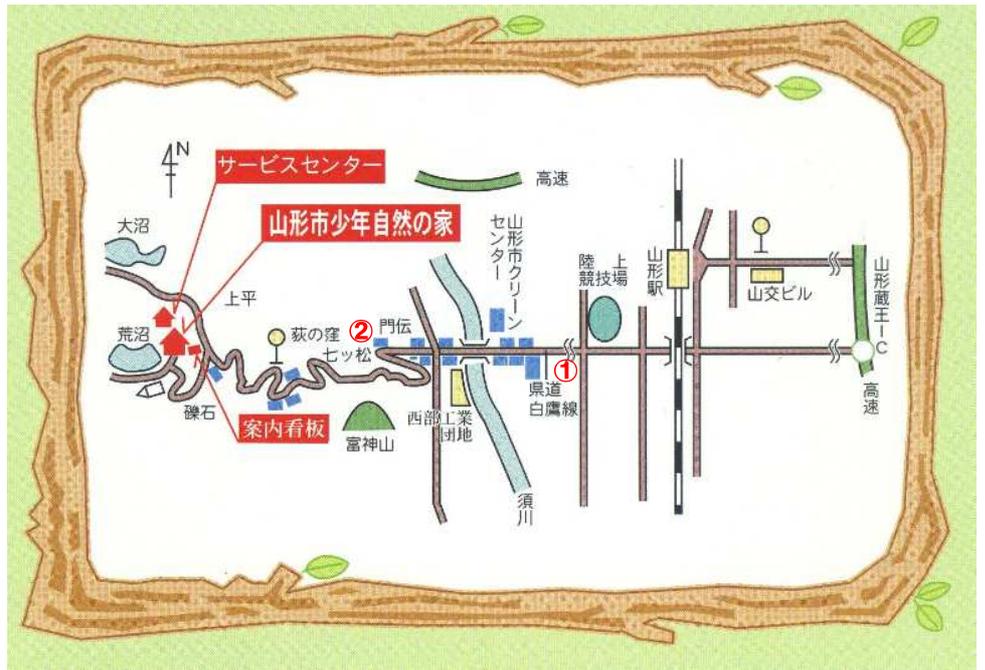
沿革

550 3	市制施行85周年記念事業として、少年自然の家建設計画決定	8 1.6	野外活動センター一部施設オープン式
51 3.31	敷地及び取付道路用地取得	4.20	野外活動センターオープン式
53 3.10	敷地用地一部所管替	5.11	少年自然の家少年団第10期生結団式
4.14	立木取得(作谷沢育英会より)松ほか729本	9 6.24	利用者60万人達成感謝のつどい
10.11	水源用地取得	10.21	山形上山地区ライオンズクラブよりテント8張受納(常設用)
12.20	敷地及び給排水設備工事竣工	10.22~23	県内少年自然の家合同研修会を開催
54 1.27	取付道路を土木課に所管替	10 7.15	プロジェクトアドベンチャー7基設置
2.26	教育委員会において「山形市少年自然の家条例」が議決	7.20	開所20年を祝う会 自然観察ガイドブック発行
4.1	山形市少年自然の家条例、及び施行規則が施行され、山形市少年自然の家が発足 職員配置 開設準備開始、研修受付業務開始	10.23	ビオトープ用貯水池完成
		10.27	山形上山地区ライオンズクラブよりテント8張受納(常設用)
		11.25	水源地改修
6.15	本館新築、電気設備、機械設備、汚水処理設備工事竣工	11 6.4	荒沼キャンプ場旗掲揚場交換工事
6.27	山形市少年自然の家竣工式	9.28	プロジェクトアドベンチャー7基設置
7.20	開所式を行い、研修業務を開始	11.9	山形上山地区ライオンズクラブよりテント5張受納(常設用)
10.29	文部省から社会教育施設整備費補助金130,000千円が交付	13 3.15	受水槽取換工事
55 6.10	キャンプ場管理所管替	8.23~24	東北・北海道地区少年自然の家運営協議会開催
10.9	拡張用地取得	14 3.26	インターネット接続(ノートPC6台)
12.23	物干場模様替工事竣工	4.16~17	県内少年自然の家所長会開催
56 2.26	源水槽用地取得	9.25	椿山購入(22,782.98㎡,立木一式)
3.1	所報「白鷹山創刊号」発行	10.17~18	県内少年自然の家合同研修会開催
9.1	オリエンテーリングコース設定	2.18~19	県内少年自然の家所長会開催
10.31	炊飯場新築工事竣工	15 6.1	昆虫標本展示開始(サービスセンター)
12.25	スキー乾燥室連絡通路新築工事竣工	4.1	圧雪車「ピステン」新規導入
57 3.13	所章、所歌制定発表会	16 6.16	利用者100万人達成記念式
8.2	敷地内道路舗装工事竣工	8~	プラネタリウムオーバーホール
58 3.31	三周年記念誌「自然と友と」発行	4.14~15	東北・北海道地区少年自然の家所長会開催
10.19	生活体験の家竣工式	17 12.22	荒沼キャンプ場水道設備設置
11.30	冒険の森完成	5.13	少年自然の家少年団第20期生結団式
59 6.8	簡易無線設置	18 5.10	荒沼キャンプ場バイオマストイレ落成式
7.20	キャンプ場炊飯場増設(36基)	11.14~15	県内少年自然の家合同研修会を開催
7.31	車庫増築	19 10.5	創設30周年記念オープンデー
10.1	薬草園完成	11.10	施設内LAN開設(山形市情報ネットワークサービスと結ぶ)
60 3.1	利用の手引き「自然と友と」発行	20 12.9	体育館改修(屋根塗装)
61 1.16	利用者20万人達成記念式	12.25	アスレチック改修
3.1	所報「白鷹山」第10号発行	22 6.12	わくわくキッズキャンプ新設
3.23~24	主催事業「ハレーすい星を観る会」に本田実氏(倉敷市)を招聘	9.3~9.5	山形大学社教主事講座受け入れ開始
8.5	本館北側斜面土砂くずれ発生	9.11	新規活動「草木染め」導入
62 5.30	少年自然の家少年団第1期生結団式	2.12	わくわくキッズデーキャンプ新設
63 8.5	食堂増築工事竣工	23 6.10	レインボーデッキを撤去し、見晴らし台を設置
9.18	第12回全国育樹祭に皇太子・同妃殿下啓自然の家で昼食をおとりになる	24 9.9	野外ステージにて初めてのオペラ公演
2	利用者30万人達成記念式	26 8	本館管理棟 屋根改修工事
H2 2.20	所報「白鷹山」10周年記念特集号発行	28 4.1	主催事業年間チラシを市内全児童配付
7.7~8	幼稚園児の宿泊体験開始	5.1	新規活動「広場めぐりウォークラリー」導入
7.24	新規活動「いかだアドベンチャー」荒沼にて行う	5.28	少年自然の家少年団第30期生結団式
5.11	新規活動「フライングディスクゴルフ」コース完成	6.4	親子お泊り体験教室を新設
3 7.19	利用人数40万人達成記念式	9.11	オープンデーを「秋祭り」に改名し、リニューアル
11.5~9	20mジャンプ台の新設	30 9.1	新規活動「秋さがしアドベンチャー」導入
4 5.9	キャンプ場にイベントテント設置	9.1	新規活動「シルエットでさがそう」導入
9.13	圧雪車「ラトラック」の贈呈(梶京食より)	12.14	新規活動「秋ネイチャービンゴ」導入
12.26	野外レクリエーション施設整備事業基本構想策定	12.14	本館食堂 屋根改修工事
5 5.1	冬季用テント・シュラフ購入	12.14	本館炊飯棟 流し台改修工事
9.30	林道新設にとまなう水源地の整備	12.15	圧雪車「ピステン」新車導入
10.31	食堂間仕切完成	R3 5.31	体育館 耐震工事完了
6 3.15	野外活動施設整備事業基本・実施設計策定	4 6.18	家族でキャンプ体験 新設
3.31	野外活動施設整備のための敷地取得	7.31	少年自然の家所長杯 モルック大会 新設
5.20	新規活動「こまの絵づけ」導入		
6.10	野外活動施設整備事業工事着工		
8.30	利用人数50万人達成記念式		

アクセス

《道案内》

- ① 南沼原小前交差点を西進してください。
- ② 道なりに進むと、カーブの多い山道に入ります。
- ③ 頂上付近の最後の集落を過ぎたところに、看板が出ていますので、左折してください。



《交通手段 および 所要時間 等》

- 自家用車 / 市内中心部（市役所）より 約 18 km（約 35 分）
- 路線バス / 荻の窪行き（千歳公園発 → 山形市役所前・山形駅西口 経由）
「荻の窪バス停」下車（山形市内より約 40 分）
→ バス停より徒歩 2.2 km（約 35 分）



荒沼駐車場付近からの「夜景」

今や知る人ぞ知る！ 山形市から村山市までを一望できる夜景スポットになっています。

閉所日（利用できない日）

- 月曜日（第3日曜日の翌日を除く）
- 第3日曜日とその前日
- 国民の祝・休日
- 年末年始（12/28～1/3）
- 国民の祝・休日と上記の休業日が重なった場合はその翌日

※冬期シーズン中は
休日もゲレンデを開放します。

〈お問い合わせ〉

山形市少年自然の家

〒990-0361 山形県東村山郡山辺町大字畑谷字板橋 3725番地
<本館事務室> 電話 023-643-8533 FAX 023-643-8574
<野外活動センター> 電話 023-643-8633（サービスセンター）
URL : <http://www.ymgt.ed.jp/shizennoie/>
E-mail : SHIZEN@ymgt.ed.jp